

報道関係者各位

2024年5月29日

株式会社イード

(東証グロース：コード6038)

読めば一生ものの国語力が身につく！

イード・リセマム編集長 加藤紀子著『親に知ってもらいたい 国語の新常識』刊行

株式会社イード（本社：東京都中野区、代表取締役：宮川 洋、以下 イード）が運営する日本最大級の教育メディア「リセマム」編集長で、17万部ベストセラー『子育てベスト100』著者の加藤紀子が、灘中高国語科教諭とともに、読めば一生ものの国語力が身につく『親に知ってもらいたい 国語の新常識』を刊行したことをお知らせいたします。



新学習指導要領、SDGs、PISA、GIGA スクール構想・・・、教育環境が複雑化する中、「国語」を取り巻く状況が今、大きく変化しています。本書では、灘中学校・灘高等学校国語科教諭 井上志音氏と、リセマム編集長加藤紀子が国語の「新常識」をわかりやすく解説しています。

親のマインドセットをアップデートするために必読の一冊です。小学生・中学生・高校生の保護者のみならず、教員・学生・ビジネスパーソンにもおすすめです。

■本書の特徴

- ・対話+実践+Q&A形式で読みやすい。
- ・世界標準の教育プログラム「国際バカロレア」など、国語に関する最新情報が満載。
- ・家庭で楽しみながら取り組める「問いづくり」実践を収録。

■書籍概要

- ・タイトル：『親に知ってもらいたい 国語の新常識』
- ・著者：井上志音 加藤紀子
- ・出版社：時事通信社
- ・定価：1,870円（税込）
- ・ご購入はこちらから：<https://bookpub.jiji.com/book/b640781.html>

■目次

【序章】学校では国語をどう教えているの？

【第1章】国語力が伸びる！ 子どもの学びとのかかわり方

- 1 「国語力がある」とはどういうこと？
- 2 子どもの国語力の課題を見つけるには？
- 3 教科書や受験から読書につなげるには？
- 4 なぜ文学を読むの？
- 5 子どもの思考力を育むには？
- 6 母語こそ国語力の土台？

【第2章】考える力が育つ！ おうち国語レッスン

<section 1 理念編>

学校で教わること、教わらないこと

学校で評価できること

家庭でできること

<section 2 実践編>

家で先生になってみよう——問いづくり基礎編

家で先生になってみよう——問いづくり発展編

【第3章】 国語のお悩み Q & A

- Q1 小学校の低学年の子どもが、家で会話をするとときに単語の羅列になっています。
- Q2 答えが一つではないような問いに対して、子どもが答えたがりません。
- Q3 うちの子はあまり他人の意見に関心を示そうとしません。
- Q4 子どもは小学校に入ったばかりですが、筆圧が弱い上に字をきれいに書けません。
- Q5 小学校で作文の宿題が減ったせいか、子どもが書くことに苦手意識を持っています。
- Q6 部分要約や全体要約ができないわが子。何かコツがあれば教えてほしいです。
- Q7 子どもが読書をしません。
- Q8 「登場人物の気持ちがわからないから、国語の授業がおもしろくない」と子どもが言います。
- Q9 子どもが中学受験を控えています、文章を読むのが遅いので、親としては心配です。
- Q10 うちの子は、国語の問題で「直接的に書かれていないこと」がわからないと言います。
- Q11 子どもの語彙量が少ないです。
- Q12 子どもにスマホやタブレットをいつ渡したらいいのか、またどのように使わせたらいいのか、わかりません。

【巻末付録】国語力が身につくおすすめの本

■著者プロフィール

【井上志音（いのうえ しおん）】

灘中学校・灘高等学校 国語科教諭。1979年奈良市生まれ。神戸大学大学院国際協力研究科博士後期課程 単位取得退学。文学修士（学校教育学）。2013年より現職。灘中高での本務のほか、学外においても「国語科教育論（大阪大学・神戸大学）」「IB教育の理論と実践（立命館大学大学院）」を担当。専門は国際バカロレア（IB）教育をふまえた教科教育学。高校国語科教科書（東京書籍）の編集委員のほか、「NHK 高校講座 現代の国語」（Eテレ）では監修・講師も兼任。著書に『メディアリテラシー 吟味思考を育む』（分担執筆、時事通信社）、『国際バカロレア教育に学ぶ授業改善』（共編著、北大路書房）、『これからの国語科教育はどうあるべきか』（分担執筆、東洋館出版社）など。

【加藤紀子（かとう のりこ）】

教育メディア「ReseMom（リセママ）」編集長。1973年京都市生まれ。1996年東京大学経済学部卒業。国際電信電話（現KDDI）に入社。その後、渡米。帰国後はフリーランスライターとして中学受験、子どものメンタル、英語教育、海外大学進学、国際バカロレア等、教育分野を中心に「プレジデントFamily」「ReseMom」「NewsPicks」「ダイヤモンド・オンライン」「『未来の教室』通信」（経済産業省）などさまざまなメディアで取材、執筆。初の自著『子育てベスト100』（ダイヤモンド社）は17万部のベストセラーとなり、韓国、中国をはじめ6カ国・地域で翻訳されている。その他著書に『ちょっと気になる子育ての困りごと解決ブック!』（大和書房）、『海外の大学に進学した人たちはどう英語を学んだのか』（ポプラ新書）がある。

■本リリースに関するお問合せ： 広報担当

URL：https://www.iid.co.jp/contact/pr_contact.html

株式会社イード 〒164-0012 東京都中野区本町 1-32-2 ハーモニータワー17階

<https://www.iid.co.jp/>